

2007 Winter VOL.52



アイの四季だより



ノウサギ
冬、雪の上に出ているキリ、カラマツ、クリなどの木の皮、芽を食べる草食動物。夜行性で、昼間は木の根、草むらの奥にいる。雪上の足跡をたどってみると、その茂みの中に……



アイセレモニー株式会社

相談室 飯網町大字普光寺969-1 (高野農機様となり)
営業本部 ☎026-253-1377 FAX253-1378
飯網ホール 飯網町大字黒川2415 ☎253-1377
五岳ホール 信濃町古間93 ☎251-7155

フリーダイヤル ☎0120-796-311

冬だからこそ 旨い!

道の駅しなの ふるさと天望館



ドカーンと! 岩魚一匹丸ごと蒲焼

ふるさと天望館 **名物 岩魚蒲焼重** 1,000円

野菜サラダ・お漬物・小鉢・味噌汁付き

上信越自動車道 信濃町インター近く「道の駅しなの」ふるさと天望館が開設されて八年目を迎える。
新鮮な地元農産物、名産品の販売に加えて、なんととっても一番の人氣は喫茶食処「天望」。
「信濃町は自然の宝庫だから、ここで採れた町内産の素材にこだわっているから、メニューには自信があるよ」と、石川俊明支配人は熱を込めて話す。他に負けない特産物といえは、霜下そばと、黒姫の清流で育てた岩魚と虹鱈。
したがって、多彩なメニューの中心となるのは、霜下そばのバリエー

ションとなるが、冬はなんといっても「岩魚蒲焼重」。このメニューは開設以来のベストセラーで、考案者は食堂主任(チーフ)松木公夫さん。岩魚の素材供給者は天望館近くの黒姫高原「黒姫ガーデン」竹村憲伍さん。竹村さんは当地で岩魚・虹鱈養殖歴五十年の大ベテラン。「黒姫の清流のおかげだよ」。
今日も常連の森山の実さんが、いつもの「岩魚蒲焼重」に舌づつみお味はどう? 「蒲焼きといっても、しつこくなく、あっさりとしていて

岩魚のうまさも生きていて、タレが良く合っていて、うまい! 松木チーフの腕はさすがだね」
各所に点在する道の駅では、そこでは味わうことができないメニューづくりに懸命です。天望館の「岩魚蒲焼重」は唯一ここでのしか! の強味です。地元の方々も、ふるさと自慢できる逸品です。
▲営業時間 AM 9:00 ~ PM 6:30 水曜日定休 (ただし、五月八月九月は無休)



さすが霧下。表は真っ白。晴れの日には黒姫山・妙高山目前に森山の実(本名)さんは、人形劇「はびい」を主宰して黒姫童話館をキーステージションに各地で大々々活躍!



ふるさと天望館では年に六回位イベントを行っています。恒例のクリスマス・コンサートは昨年秋にも出演し好評を博した「丸山博司とアンサンブル・ファンタジア」。

この日もいつものメンバーで、ギター丸山博司、ピアノ久野香代子、ベース西沢三泰、ドラム飯塚理恵、ボーカル・司会にヴァーン湯本と、そうそうたるメンバー。
曲名はポピュラーから映画音楽、ジャズで、夜露のしのび逢い、ラ・クレパルシスター、春の小川、かあさんの歌、そしてクリスマスソングまで、しびれる音色で会場を魅了。

大盛況! 御礼

道の駅しなの ふるさと天望館 X'mas コンサート

昨年の12月23日(祝) start PM4:00
出演/丸山博司とアンサンブル・ファンタジア



もしもの時…に備えて

「アイセレモニー智の会」

- 入会金1万円(年会費他一切ありません) 只今受付中です。もしもの時は葬儀費用が割引料金となつて、経済的ご負担が軽減されて安心です。
- 事前ご相談も承ります。いくらかかるのかしら、心配だわ…どうぞご心配なく。無料で詳しくお見積りいたします。

ご葬儀は地域の慣習やお寺さまの宗派、僧侶の作法にお応えして執り行う最も厳粛な儀式といわれます。その中で一番大切なことは、喪主になられる方が、心を込めてどのようにお見送りしたいかを確かめておくことです。喪主さまのお気持ちを全面的に支援しお手伝いさせていただきます。喪主さまの思い通りを「格安」に「当社」のテーマです。
▼下記へ気軽にお電話を!

シリーズ名刹をたずねて

県境にひっそりと佇む

浄土真宗本願寺派

熊洞山 専入寺

信濃町熊坂

信濃町の北端、関川を境として向う側は妙高市、こちら側は信濃町であり、また長野県と新潟県との県境でもある。

熊坂は関川の内側に位置する信濃町でも最北端の集落である。目の前約1kmに妙高高原駅が見えて、生活圏は一番近いところの新潟県妙高市(旧妙高高原町)となる。でも行政区は長野県信濃町。

信濃町最北端、この熊坂に専入寺が久遠の灯火を守りつづけている。関川の内側に信越本線が走り、この線路を潜り抜けて寺本堂と住職の住いが別々にある。

さすがに名の知れた豪雪地帯であるから、寺の土台はコンクリートの高床造りで、雪閉りも万全なく、専入寺は元龜二年(一五七〇)、開山僧源照が越後国高田に一寺を創立し瑞泉寺末となり専入寺と号したのが始まりといわれる。

その後、今から二百五十五年前、江戸徳川家重の時代宝暦二年(一七五二)に高田の瑞泉寺から分家し、西本願寺直末としてこの熊坂に専入寺を創立し現在に至る。現住職は第十三世を世襲して活躍。

専入寺第十三世住職 安田 智見
信濃町熊坂三九三
電話二五八一四一四三



本堂内陣



手前住職の住まいから信越線をくぐって本堂へ向かいます。階段を上がると見渡すと、左黒姫山、右妙高山を眺望。

「若僧(若造)の会」

発足

信濃町・飯綱町で寺を営み、宗派を問わず、次世代を担う若僧の集いが昨秋に開かれました。時代は刻々と変化し、地域社会も変改しながら進んでゆく今日。寺も地域との交わり方、営み方も改革が

仏教を広めた偉人たち

飛鳥時代(五九三・推古天皇)、聖徳太子(五七四〜六二二)は摂政となる。このころ仏教は日本に渡来してまだ数十年たったばかりであったが太子は仏教を政治の基調とし、道義と平和の上におく根拠とした。当時の仏教は学問・芸術の総合体であり、仏教を重んじることは学問・芸術を振興することを意味した。仏教を広くすすめ、みずからも仏教への非凡な理解と信仰をもっていた。六〇七年に法隆寺建立。

最澄「天台宗の開祖」
空海「真言宗の開祖」

平安時代初期、法を求め遣唐使に従い唐(中国)に渡る。この僧たちは人々のくらしの中で仏教の教えを生かそうと考えた。

最澄は、京都の東北比叡山の山中にこもり修行を積み、延暦寺建て。八二二年(弘仁十三年)比叡山にて亡。朝廷から「伝教大師」名命。

空海は、祈り、呪いで災い病気をなおす「密教」を確立。和歌山県の高野山に金剛峯寺建て。各地に橋をかけたり用水池をつくったり、学問を広めて大衆のくらしに貢献した。八三五年(承和二年)亡。朝廷か

法然「浄土宗」

源平合戦の厳しい平安時代末、鎌倉時代に浄土教をもとにして、一七五五年法然が浄土宗を唱える。

親鸞「浄土真宗」

法然の弟子であった親鸞は、浄土宗を一步進めた教えを広めた。室町時代には民衆の力を集めてたいへん大きな勢力を持つようになった。法然は讃岐国(四百年ほど流され、親鸞もまた越後国へ五年ほど流され、その後、常陸国(茨城県)稲田に住む。

栄西「臨済宗」

宗(中国)から禅宗が伝わる。禅宗は行事や学問に頼つたりせず、座禅を組んで自分の力で心の迷いを捨てよ、という教え。

一八六六年栄西は二度宗へ渡り五年間修行。一九〇一年(建久二年)帰朝し「臨済宗」を広め、京都に建仁寺を建てる。

道元「曹洞宗」

道元は建仁寺をたずねた教えをう。一二三三年(貞応二年)宗に渡る。一二七〇年に帰朝し、「曹洞宗」を伝える。一二四四年(寛元元年)越後国(福井県)に永平寺を建てる。

日蓮「法華宗」

元が攻めてきたころ日蓮は比叡山や鎌倉で修行。いままでの宗教は真違いでわざわざいがると予言。法華宗を信仰せよと、一二五三年鎌倉に「法華宗」を広む。一二七一年佐渡に流される。一二七四年身延山久遠寺を開き、室町時代には盛んとなる。



「テーマ」今、何が出来るか、何をすべきか……

進んでいきます。

今、「いじめ」が始まって、学級崩壊、格差社会、家族・地域社会との絆も希薄となり、今まで体験したことのない社会問題が噴出。

戦後復興をめざし高度経済成長を成しとげて、経済最優先型社会が構築されてきました。が、そのひずみが、このような現われ方をしてくて、そのあり方に警鐘しているのでは

政治家、時の為政者にだけその責任を押しつけるだけでなく、この今こそ仏教家としての我々に何が出来るか、何をすべきかが問われているのではないかと……という、極めて

素朴な疑問から有志を募って「ワカゾウの会」発足のための準備会であること、主催者(言い出しっべ)月原秀宣さん。

「微力ながら、地域社会に役立つことは何か、何をすべきか、何が出来るか」をテーマに、皆さんと話し合ってみよう。

第一回目の準備会であるためPR不足でもあったので少数の集いでありましたが、熱気あふれる討論となりました。引き続き準備会を続けて、会のカタチを見るところまでしたいとのこと。